

卵子凍結スケジュール (アンタゴニスト法)

* 不妊科 お問い合わせ *

☎ 03-5280-1166

月～金曜日 14:30～17:00 (祝日除く)



医療法人財団 小畑会

浜田病院

採卵前に行う検査

- ・超音波検査
- ・子宮がん検査
- ・ホルモン採血
- ・感染症採血
- ・AMH

注射実施時間・場所

平日	9:00 ～ 12:00	2F 外来処置室
	14:00 ～ 17:00	2F 外来処置室
土曜	9:00 ～ 12:00	2F 外来処置室
日曜・祝日	9:00 ～ 12:00	3F スタッフステーション

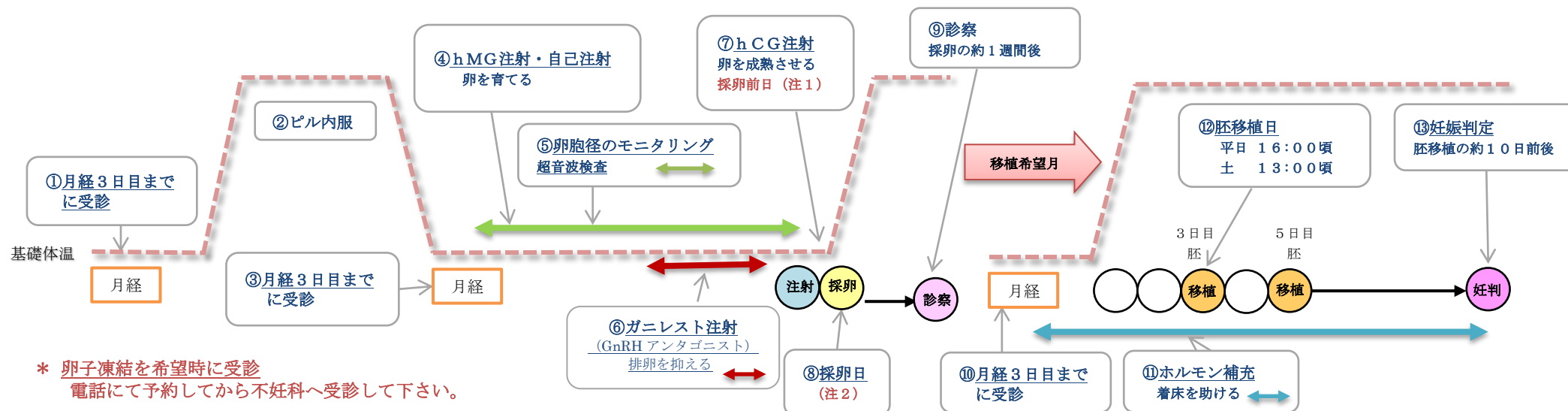
当院で使用する注射製剤

・HMG 筋注用「F」・フオリルモンP・hCG F
自己注射製剤 (ゴナールF ペン・レコベルペン・ガニレスト・オビドレル)

※ 卵子凍結を希望時に不妊科を受診し、今後のスケジュールを相談して治療計画をたてます。

・LIFEBANK へ登録

※ 自己注射指導は、平日 15:30 までの予約制です。



* 卵子凍結を希望時に受診
電話にて予約してから不妊科へ受診して下さい。

① 月経3日目までに受診

月経が始まってから、3日目までに不妊科へ受診して下さい。

② ピル内服

前周期にピルを内服して、月経を調節してから排卵誘発を始めます。

③ 月経3日目までに受診

月経が始まってから、3日目までに不妊科へ受診して下さい。

④ hMG注射又はFSH注射

月経3日目前後から卵胞が発育するまで連日注射をします。

⑤ 卵胞径のモニタリング

注射開始後、3～5日ごとに超音波検査で卵胞発育を観察します。

⑥ ガニレスト注射 (GnRH アンタゴニスト)

卵胞が14～16mm程度に発育したら、自発的な排卵を抑えるために数日間 (2～5日) 連日注射します。注射間隔は30時間以上あけないよう注意が必要です。

⑦ hCG注射 3F (病棟)にて注射 朝5:30・7:00・7:30 (注1)

採卵時間に合わせて採卵前日の指定時間に、排卵を促すホルモンであるhCG製剤の注射をします。(自己注射や点鼻薬等、診察時に相談することができます)

⑧ 採卵日 15:00・16:30・17:00 (注2)

静脈麻酔または局所麻酔を使用し、採卵します。採卵後は1～3時間の安静後に退院となります

⑨ 診察

採卵後の診察と卵子の凍結状況を報告します。(LIFEBANK へ移送)

※ 融解胚移植を希望時には電話にて予約してから受診して下さい。

ご夫婦確認とお二人の感染症検査・精液検査・腔培養・ゾンデ診を行います。

⑩ 月経3日目までに受診 (LIFEBANK から当院へ移送)

融解胚移植を希望月の月経が始まってから、3日目までに不妊科へ受診して下さい。

⑪ ホルモン補充周期

女性ホルモン貼付薬・プロゲステロン腔坐剤を使用して着床に必要な子宮内膜を準備します。医師からの指示があるまで、薬の使用を続けて下さい。

⑫ 凍結融解胚移植日

卵子を融解し顕微授精を施行します。初期胚 (3日目胚) または胚盤胞 (5日目胚) まで発育すれば移植します。胚移植後の安静時間はありません。

⑬ 妊娠判定

採血をします。妊娠判定陽性の場合、妊娠9週頃までホルモン補充を継続します。